

平成28年度採択 戦略的基盤技術高度化支援事業

株式会社神戸工業試験場（東京都） 主たる技術：計測技術

- ・工業材料分析として技術的に欠落していた有機化合物の一次評価技術・装置を開発した。
- ・開発装置は、経済のグローバル化の進展に伴い、輸入原材料・製品の含有成分や組成が知らないうちに変わること（サイレントチェンジ）によるトラブル事例抑止に資する。

研究開発の成果

■ 一次評価用のスクリーニング分析装置の開発

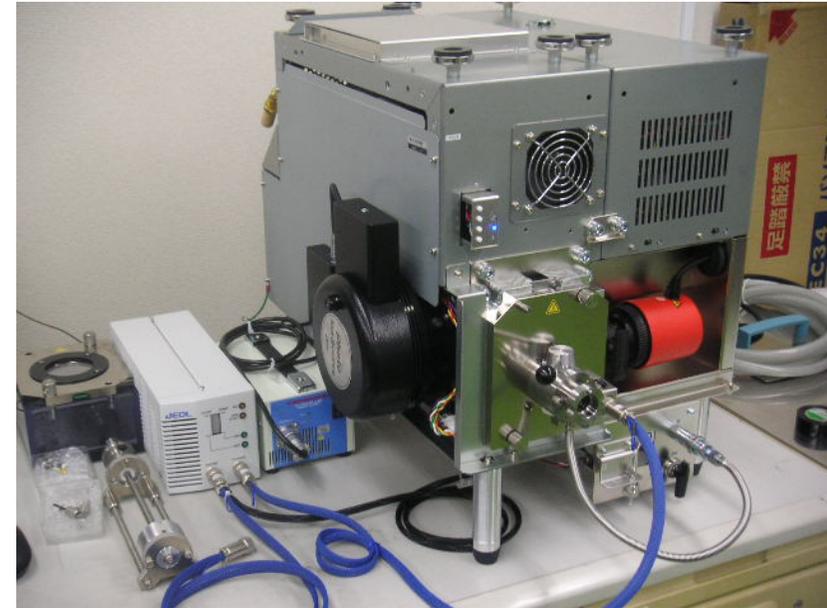
- ・ダイレクトインレットプローブ-質量分析法(DIP-MS)型装置。
- ・同一ガス流れ環境下で3つの異なるイオン化法での計測を可能にしたことで従来よりも物質同定精度を向上（マルチイオン源化）
- ・1測定は10min程度以内。定性～定量分析が可能。

■ 試料セル作製技術の開発

- ・DIP-MS型装置では従来測定困難であった中沸点レベルの有機化合物も分析対象に拡大。
- ・簡易的な校正用試料作製が可能。

■ ライブラリ収録

- ・樹脂添加剤として253種類の化合物のスペクトルデータを収録。



研究体制

一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会

(実施機関)

- ・株式会社 神戸工業試験場
- ・国立研究開発法人 産業技術総合研究所

当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：技術企画室・三島 有二
E-mail：y-mishima@kmtl.co.jp
電話番号：03-3843-5691